

<文化施設における資料の概要について>

施設名：町田市立博物館

資料2-1

(資料の内容)

	内訳	寄贈	購入	発掘	その他(寄託等)	合計
資料数(単位:件)	ガラス	122	863			985
	陶磁器	3,421	141		5	3,562
	戯画・風俗画	379	240			619
	絵画(風俗画以外)		51			51
	時計	108				108
	仮面	156			4	160
	染織・漆等	59	1			60
	土器/石器	200	9	復元300・片260箱	5	769
	板碑	82				82
	古文書・高札・古地図等 歴史資料	20			5	20
	民俗資料	4,200			5	4,205
		8,747	1,295	560	5	10,621
成り立ち、収集方針	美術工芸・絵画・考古・民俗資料が数量的に大きい。考古資料は昭和51年度以前の発掘調査による出土資料である。民俗資料は生活の変化に伴い、市民から持ち込まれたものがほとんどである。美術工芸、絵画は展覧会開催後の出展作品一括購入や寄贈が収集の核となっている。収集方針は明文化されていないが、資料収集委員会では、美術品に関して公的機関が収蔵するに足る水準を保持しているもので、既存のコレクションと関連の深いものか、一定数の群を成していく単独で展覧会が開催できるコレクションで、将来的な展開が期待されるものであることが必要と認識されている。					
分類(内訳)ごとの特徴・特色	ガラス	チェコガラスを中心とするイタリア・フランス・スペイン等のヨーロッパガラスと中国の清朝ガラス、薩摩切子、日本近代ガラス芸術の先駆者とされる岩田藤七・久利作品が核。公立館では日本で三指に入るコレクション。				
	陶磁器	ベトナム・タイ・カンボジア・ミャンマー・ラオス等東南アジア陶磁、中国陶磁、日本近代の染付磁器が核。東南アジア陶磁は日本最大のコレクション。				
	大津絵	最も優れた典型的な日本の民画で、浮世絵や陶磁器、日本舞踊などにも影響を与えた。公開されている大津絵コレクションとしては日本民藝館に次ぐ日本第2のコレクション。				
	戯画・風俗画	田河水泡氏が収集した幕末から近代までの戯画、風俗画を核とする。近代の世相や風俗をうかがわせる、鯰絵や庖瘡絵、漫画など。歴史資料としても美術作品としても活用が可能である。				
	時計	ヨーロッパおよびアメリカ製の懐中時計で、最も古いものは1700年製。機械というよりは美術品としての価値が高く、特に内部がオリジナルのままのものがほとんどで、現在でも作動する点が貴重である。				
	民俗資料	町田市域の近世末から昭和前期までの多摩地区の生活資料が中心である。				
	考古資料	昭和51年度以前の町田市内の遺跡発掘調査による出土品が中心。鶴川遺跡の占める割合が比較的大きい。				
評価額	(民俗・考古・寄贈歴史資料以外)1,488,172,000 円					
特色のある(貴重な)資料	チェコガラス	中国ガラス(鼻壺煙)				
	岩田ガラス	東南アジア陶磁				
	大津絵	田河水泡コレクション 戯画・風俗画				
寄贈・発掘等今後の見通し	基本的には、現状を説明して寄贈を辞退している。東南アジア陶磁、ガラスに関する寄贈打診はしばしばあって中には貴重なものもあり、また申し出者の熱意があり苦慮している。					

(保管状況)

	場 所	広 さ	課題(空調の有無等)
収蔵庫	博物館収蔵庫	5箇所150m ²	極度の狭隘。割れ物を2~3段に積み重ねている。 空調能力が低く、年間で湿度の差が30パーセント近く出る。 さまざまな材質の資料があるが、材質ごとの保存に適した湿度温度の設定ができない。 考古資料はオープン・スペースでの保管につき防犯上の問題がある。
	小学校空き教室	5教室	空調なし。温度差25度以上。
	版画美術館図書室ほか		管理責任上の問題あり。版画美術館の業務に影響。
整理状況	2010年度末までにほぼ全点が収蔵品管理システムに登録予定。所在確認は進行中。		
保管状況による資料への影響	ガラスのグリズリング現象。空き教室保管の民俗資料の虫害。大きな湿度変化の繰り返しによる紙資料、土器、陶磁器補修部分の劣化。極度の分散保管のため、常に管理上の不安を抱える。		

(活用状況)所管外からの借用依頼(2000年以降)

年度	依頼者名	展覧会名	資料の種類	出展数	備考
2006~2007	九州国立博物館	海の道、アジアの路	陶磁器	51	
2006	駿府博物館	日本ガラス工芸の巨匠岩田藤七・久利の世界	ガラス	102	交換展「駿府博物館所蔵日本画名品展」
2007	茨城県陶芸美術館	アジアの熱気—東南アジア陶磁器の魅力町田市立博物館名品展	陶磁器	142	交換展(予定)「人間国宝松井康正の世界」
2007	大倉集古館	町田市立博物館所蔵 ガラスー光と彫刻の芸術	ガラス	130	交換展「大倉集古館所蔵 能面・能装束展」
2009	台北県立鶯歌陶瓷博物館	東南亞陶瓷	陶磁器	34	
他別紙詳細					

(課題)

狭隘化、保存環境の劣悪が最大の課題。

※ 行間は適宜調整してください。2ページ以上になっても差し支えありません。
書ききれないなどの場合は、必要に応じて別紙(様式は任意)を添付してください。

貸出し資料

【2004年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
鹿児島県歴史資料センター	薩摩切子	ガラス	3	2004年9月18日 ～2004年11月18日
町田市立中央図書館	発掘された町田の歴史 —図書に掲載された出土品を中心に	考古	4	2004年9月24日 ～2004年11月2日

【2005年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
瀬戸市美術館	瀬戸市美術館特別展 景德鎮陶瓷展—千年の歴史と美—	陶磁器	1	2005年4月25日 ～2005年8月3日
目黒区美術館	色の博物館・黄—地の力&空の光	ガラス	2	2005年7月17日 ～2005年9月8日
国立科学博物館	カラスと人間	戯画	2	2005年9月15日 ～2005年11月15日
国際交流基金	YOKAI—日本のお化け図鑑	大津絵	3	2005年9月15日 ～2005年2月28日
埼玉県立貴台美術館	木村直道+遊びの美術	錦絵	6	2005年12月19日 ～2005年2月15日
大津市歴史博物館		大津絵	2	2005年2月24日 ～2005年4月30日
京都府京都文化博物館	京の食文化	民俗	2	2005年3月1日 ～2005年4月28日

【2006年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
九州国立博物館	海の道、アジアの路	陶磁器	51	2006年7月4日 ～2007年8月31日
MIHO MUSEUM	和ガラスの心 —勾玉からびいどろ・ぎあまんまで	ガラス	5	2006年7月15日 ～2006年8月20日
石川県能登島ガラス美術館	ヴェネチアが生んだ永遠の美 「レースガラスの魅力」	ガラス	2	2006年7月22日 ～2006年10月16日
駿府博物館	日本ガラス工芸の巨匠 岩田藤七・久利の世界	ガラス	102	2006年8月4日 ～2006年9月17日
泉屋博古館分館	中国陶磁 美の軌跡	陶磁器	1	2006年10月16日 ～2006年12月22日

【2007年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
町田市民文学館	100年前の町田と『小説教育者』	民俗	11	2007年6月20日 ～2007年9月30日
茨城県陶芸美術館	アジアの熱氣—東南アジア陶磁器の魅力 町田市立博物館名品展	陶磁器	142	2007年6月30日 ～2007年9月9日
町田市青少年施設ひなた村	『ベルの響き』青少年コンサート	民俗	1	2007年11月22日 ～2007年12月7日
大倉集古館	町田市立博物館所蔵 —光と彫刻の芸術— ガラス	ガラス	130	2007年12月6日 ～2008年3月下旬

【2008年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
渋谷区立松濤美術館	素朴美の系譜	大津絵	6	2008年12月1日 ～2009年1月31日
サントリー美術館 神戸市立博物館	一瞬のきらめき 一まぼろしの薩摩切子	ガラス	3	2009年1月16日 ～2009年9月30日

【2009年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
台北県立鶯歌陶瓷博物館	東南亞陶瓷	陶磁器	34	2009年10月17日 ～2010年2月28日
青少年施設ひなた村	ベル・土・竹の響きコンサート	民俗	1	2009年11月19日 ～2009年12月3日

【2010年度】

申請者	展覧会名	種別	件数	貸出期間
福井県陶芸館	太平洋を取り巻く国・地域のやきもの文化展	陶磁器	8	2009年4月23日 ～2010年6月27日